

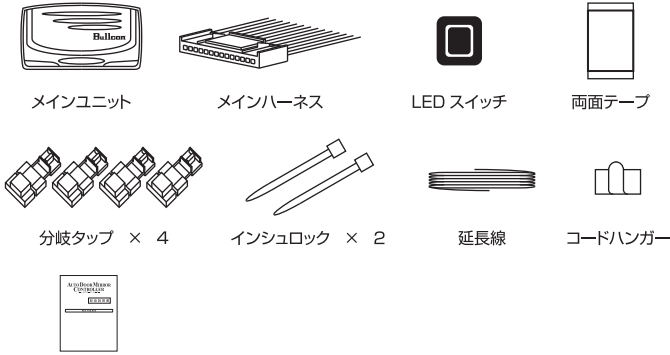
# AUTO DOOR MIRROR CONTROLLER

オートドアミラーコントローラー

## 【ADL-11】 取扱説明書

この度はブルコン「オートドアミラーコントローラー」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

### 商品付属構成



取扱説明書（保証書）

製造・販売元 **フジ電機工業株式会社**  
<https://www.fuji-denki.co.jp>

本社：〒534-0025 大阪市都島区片町1丁目6番16号  
 TEL 06-6358-4409(代) FAX 06-6358-1880  
 サービスセンター：〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村530  
 TEL 0795-74-2177 FAX 0795-74-2187

製造・販売元 **フジ電機工業株式会社**

本社：〒534-0025 大阪市都島区片町1丁目6番16号  
 TEL 06-6358-4409(代) FAX 06-6358-1880  
 サービスセンター：〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村530  
 TEL 0795-74-2177 FAX 0795-74-2187



### はじめにお読みください

この取扱説明書には、本製品を安全にご使用いただき、お客様や取り付け時の危害や損害を未然に防止するために、色々な注意事項を表示しております。又、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を「警告」・「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示内容は下記の様になっておりますので内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### ⚠ 警告 以下の警告文を無視し、使用を続けますと火災・故障・事故の原因となります。

- ▼本製品を分解したり、加工・改造等しないでください。
- ▼本製品のお取り付けをおこなう際は電源の極性（+）を間違えない様ご注意ください。
- ▼電源コードを傷付いたり、無理な曲げ、ねじり、引っ張りや加熱加工等加えないでください。
- ▼本製品はDC+12V・マイナスアース専用です。指定以外の電圧では使用しないでください。
- ▼本製品のお取り付けをおこなう際は電源側（+12V）のコードが車体の金属部分に触れない様、ご注意ください。
- ▼本製品に水が入らない様にしてください。万一水が入った場合は、電源を抜き速やかにご購入店へご連絡ください。
- ▼本製品から煙が出たり異臭・異音がする場合は、本製品の使用を中止し直ちに電源を抜き安全確認の上、修理をご依頼ください。
- ▼本製品のお取り付け及び使用方法を誤ると車両の装置、機器類を破損又は、損傷する恐れがあります。

#### ⚠ 注意 以下の注意文を無視し、使用を続けますと誤作動・故障の原因となります。

- ▼本製品は違法改造車及び整備不良車等へお取り付けしないでください。
- ▼本製品のお取り付けをおこなう際は他機器に影響を与えない場所に設置してください。
- ▼過度の熱や水等が本製品に影響を与えそうな場所への設置はしないでください。
- ▼本製品のお取り付けをおこなう際はメインユニット及びLEDスイッチは確実に固定してください。
- ▼本製品の誤ったお取り付け及び使用方法による事故等に関しましては、当社では一切責任を負いませんので予めご了承ください。
- ▼本製品のメインハーネスを抜き差しする際は必ずコネクターを持って作業をおこなってください。コードを引っ張るとコードが傷付き、ショートする恐れがあります。
- ▼車両のバッテリーが弱っている状態及び車両に不備がある場合は本製品をお取り付け又は使用しないでください。車両機器及び本製品に影響を与える恐れがあります。

### お取り付けの前に

- ▼本製品のお取り付けは取り付け技術のある販売店でおこなってください。
- ▼本製品は国産車専用です。外国車にはお取り付けできません。
- ▼本製品をお取り付けする際、車両側の配線を検出する時は必ずサーキットテスターを使用し、検電器は絶対に使用しないでください。万一、お取り付けする際に検電器を使用した場合、車両側の制御機器等に異常又は、破損や故障等が起りましても弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ▼配線方法図中の × 部分は切断して頂き、●部分及び常時電源線等は結線後、必ずビニールテープ等で絶縁処理をおこなってください。又、配線しない線も必ずビニールテープ等で絶縁処理をおこなってください。ショートによる火災、感電、故障、事故の原因となる恐れがあります。

### 保証規定

- 保証期間内に説明書に従った正常な使用状態で、万一故障が生じた場合は無償で修理又は交換致します。
- 保証期間内であっても、次の様な場合は有償修理となります。
  - ・保証書のご提示が無い場合。
  - ・所定事項の未記入及び販売店名の記入、又は捺印が無い場合。
  - ・購入日の未記入、又は字句を書き換えられた場合。
  - ・製品取扱上の誤り及び使用方法の誤りによる破損、損傷に起因する故障。
  - ・誤配線、誤接続等の不注意による破損、損傷に起因する故障。
  - ・火災、その他天災地変により生じた破損、損傷に起因する故障。
  - ・不当な修理及び改造に起因する故障。
  - ・人為的な過失、又は事故により生じた破損、損傷に起因する故障。
  - ・故障の原因が本製品以外にある場合。
  - ・譲渡品の場合。
  - ・消耗品品の交換（付属部品等）。
  - ・その他上記項目に準ずる場合、及び弊社が保証不可能と判断した場合。
- 保証期間終了後は有償修理となります。
- 保証書のご提示があっても修理、点検時の代替、交換は致しかねます。
- 以下の様な場合は一切の保証を致しかねます。
  - ①本製品が原因で生じた付随的損害や傷害。
  - ②本製品の修理、点検、交換時に発生する工賃。
  - ③故障、修理や交換等により車両が使用出来なかった事による損害。（電話代・レンタカー代・レッカー代・宿泊代・交通費等）
- 保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
- 保証規定は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

### アフターサービス

- 修理や点検を依頼される場合は、保証書の全ての項目にご記入の上、故障の内容をお買い上げの販売店にご相談ください。（どの様な症状なのか、いつ頃から等出来るだけ具体的に詳しくお知らせください。）
- 製造・販売が終了した製品については、修理をお受け出来ない場合がありますので予めご了承ください。
- 修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店にご相談ください。

※本製品の保証期間はご購入時からの起算になります。本製品のの一部又は全てを交換された場合、保証期間は交換時からの起算にはなりませんので予めご了承ください。また、購入日記載の書類（シート、納品書、販売店からの発送メール等）がある場合は保証対象となります。

- ▼配線方法図中の緑色の指示部分で「又は」と表記されている部分は必ずどちらか 1 本だけ配線して頂き、2 本共配線する様な事は絶対にしないでください。
- ▼キー検出信号入力線を配線しなかった場合、走行中にドアロックされるとドアミラーが格納されてしまい、走行上大変危険ですので必ず配線をおこなってください。
- ▼運転の差し支えになる様な配線はおこなわないでください。事故の原因となる恐れがあります。
- ▼エンジン始動・停止がプッシュボタン式の車両にお取り付けされる場合は必ず OFF・ACC・ON の状態を車両取扱説明書でご確認していただき作業をおこなってください。
- ▼本製品のお取り付けは必ずエンジンを停止した状態でおこなってください。火災、感電、故障、事故の原因となる恐れがあります。
- ▼本製品をお取り付けする際は他機器に影響を与えず運転に支障の無い場所に設置してください。本製品が正常に作動しなかったり車両機器に影響を与える恐れがあります。
- ▼万が一、車両に異常が起きてても弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ▼本製品をエンジンスターター・ターボタイマー装着車にお取り付け又は使用しないでください。本製品が正常に作動しませんのでご注意ください。
- ▼ホンダ車の一部で格納スイッチが「A タイプ」の車両でドアミラーの開閉線が格納スイッチ裏側ではなく運転席ドア内パワーウィンドウスイッチ裏側にあり「B・C」タイプの配線になる場合がありますので取り付けの際はご注意ください。
- ▼一部車両において格納スイッチ裏でドアミラー開閉信号線が運転席側と助手席側で分かれている場合があります。この場合はドアミラー開閉信号線をそれぞれ 1 本にまとめて配線をおこなってください。
- ▼一部車両でエンジン停止後、約 30 秒～数分間ドアミラー格納スイッチでドアミラー開閉操作がおこなえる場合はお取り付け出来ません。

### — パワーウィンドシステムのリセットについて —

本製品のお取り付けの際、パワーウィンドユニットの制御ハーネスを引き抜く場合があります。この場合、一部の車両ではパワーウィンドのオート機能が働かなくなる恐れがありパワーウィンドユニットのリセットをおこなう必要があります。又、バッテリーを外しても同様の症状が発生する場合がありますのでリセットをおこなってください。

- ・操作は該当するドアのパワーウィンドスイッチでおこなってください。
- ・同時に複数のリセット操作をおこなえません。
- ・長時間スイッチ操作をおこなうと車両保護の為窓ガラスが動かなくなり一時的にオート動作が働かなくなる場合がありますのでこの場合は、しばらく時間を置いてから再度リセット操作をおこなってください。

（トヨタ車・ダイハツ車等）

- ①エンジンを始動し、パワーウィンドスイッチで DOWN 操作を行い窓ガラスを全開にします。
  - ②パワーウィンドスイッチで UP 操作を行い窓ガラスを全開にし、そのまま UP 側に 1 秒以上維持します。
  - ③パワーウィンドスイッチから手を放した時に窓ガラスが下から動かない事を確認してください。
- ▼この場合はパワーウィンドユニットの制御ハーネスを引き抜いて 10 秒以上経過してから再度差し込んだ後、上記①～③の作業をおこなってください。
- ④上記①～③の作業を行ってもリセットされない場合は、パワーウィンドスイッチで UP 操作を行い窓ガラス全開後もそのまま UP 側に 12 秒間維持してください。

（ホンダ車・日産車等）

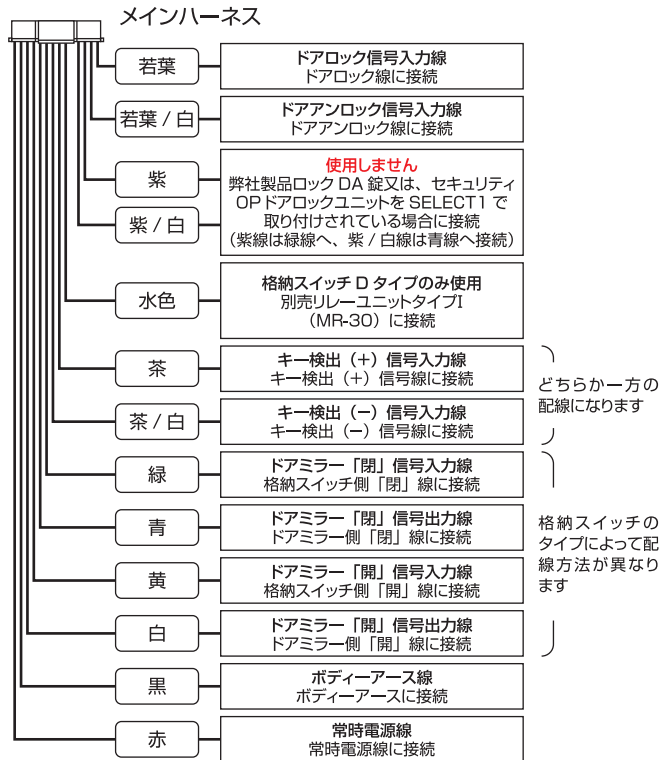
- ①エンジンを始動し、パワーウィンドスイッチで DOWN 操作をおこない窓ガラスを全開にします。
- ②パワーウィンドスイッチで UP 操作をおこない窓ガラスを全開にし、そのまま UP 側に 3 秒間維持します。

### 使用上のご注意

- ▼メインユニットのディップスイッチ設定を変更する際は必ずメインハーネスを引き抜いてから設定変更をおこない、設定変更後にメインハーネスを差し込んでください。
- ▼車両の所有者以外の方が本製品を使用する場合も必ず取扱説明書をお読みください。
- ▼誤配線や誤った使用方法での破損、損傷、損傷、事故等につきましては弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

引き続き裏面へお進みください。

## 配線概要



## 格納スイッチタイプの確認

必ず車両ドアミラーの格納スイッチタイプをご確認の上、各タイプ配線方法に従って配線及び取り付けをおこなってください。

A タイプ	ワンブッシュ式	スイッチを押すと戻るタイプ	左下記 「A タイプ」配線方法へお進みください。
B タイプ	ツーブッシュ式	スイッチを押すと戻らず、再度押すと戻るタイプ (2本線制御)	下記 「B・C タイプ」配線方法へお進みください。
C タイプ	シーソー式	スイッチを左右に倒すタイプ (中立ありも含む)	下記 「B・C タイプ」配線方法へお進みください。
D タイプ	ワンブッシュ式	スイッチを押すと戻らず、再度押すと戻るタイプ (1本線制御)	別紙 「D タイプ」配線方法へお進みください。

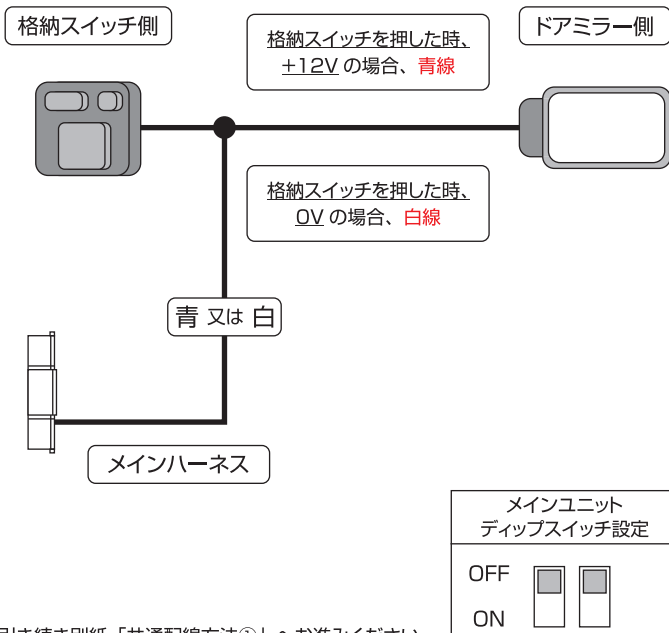
※「D タイプ」の車両には別売のリレーユニットタイプ1(MR-30)が必要です。必要な車両については弊社ホームページでご確認ください。

## 「A タイプ」配線方法

エンジンキーを OFF⇒ACC (ON) にし、格納スイッチ裏のコネクタ内から格納スイッチを押しドアミラー開閉時で通常時と異なる電圧に変化する線をサーキットテスターで探します。

格納スイッチを押した時、+12V に電圧変化する場合、**青線**を接続  
格納スイッチを押した時、0V に電圧変化する場合、**白線**を接続

エンジンキーを ACC (ON)⇒OFF にし、格納スイッチからコネクタを引き抜き上記で確認した線を接続してください。



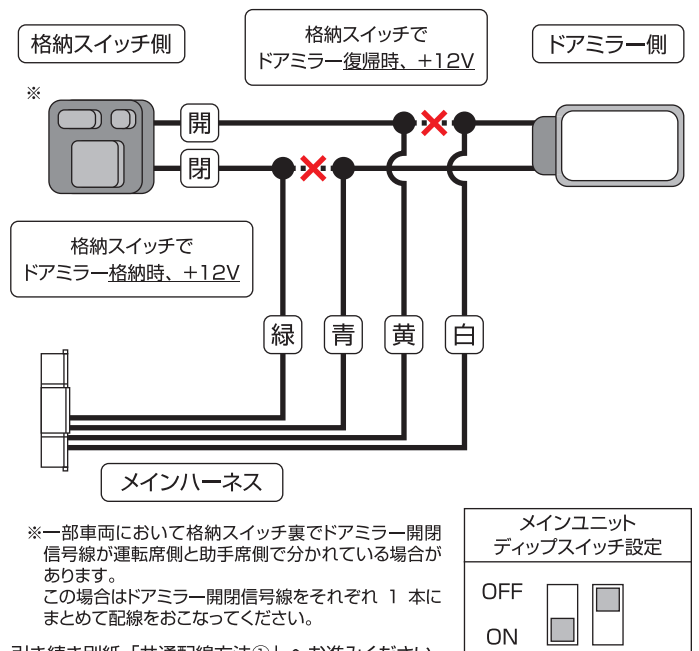
引き続き別紙「共通配線方法①」へお進みください。

## 「B・C タイプ」配線方法

エンジンキーを OFF⇒ACC (ON) にし、格納スイッチ裏のコネクタ内から格納スイッチを押しドアミラー開閉時でそれぞれ異なる電圧に変化する線をサーキットテスターで探します。

格納スイッチを押しドアミラーを格納させた時、+12V に電圧変化する線を切断し  
ドアミラースイッチ側に**緑線**、ドアミラー側に**青線**を接続  
格納スイッチを押しドアミラーを復帰させた時、+12V に電圧変化する線を切断し  
ドアミラースイッチ側に**黄線**、ドアミラー側に**白線**を接続

エンジンキーを ACC (ON)⇒OFF にし、格納スイッチからコネクタを引き抜き上記で確認した線をそれぞれコネクタから約 10 cm の所で切断し接続してください。



※一部車両において格納スイッチ裏でドアミラー開閉信号線が運転席側と助手席側で分かれている場合があります。この場合はドアミラー開閉信号線をそれぞれ 1 本にまとめて配線をおこなってください。

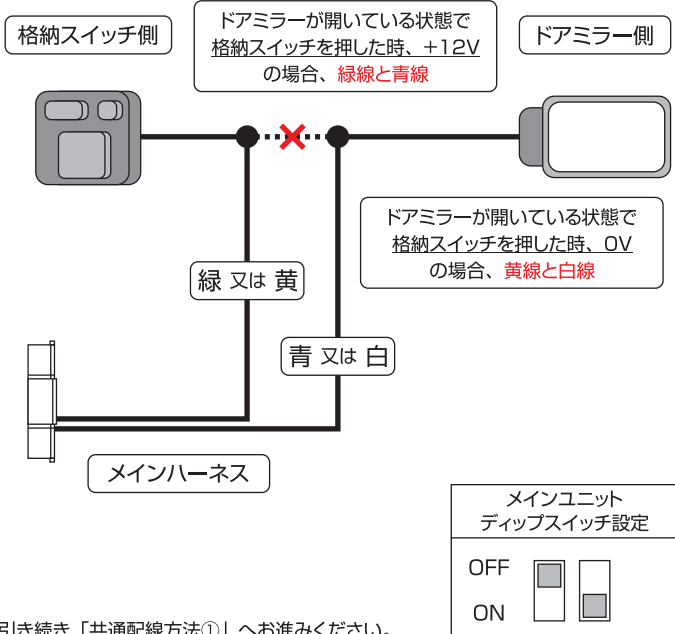
引き続き別紙「共通配線方法①」へお進みください。

**「Dタイプ」配線方法**

エンジンキーを OFF⇒ACC (ON) にし、格納スイッチ裏のコネクター内から格納スイッチを押したドアミラー開閉時で異なる電圧に変化する線をサーキットテスターで探します。

ドアミラーが開いている状態で格納スイッチを押した時、+12V に電圧変化する場合、この線を切断し **ドアミラースイッチ側に緑線、ドアミラー側に青線** を接続  
 ドアミラーが開いている状態で格納スイッチを押した時、OV に電圧変化する場合、この線を切断し **ドアミラースイッチ側に黄線、ドアミラー側に白線** を接続

エンジンキーを ACC (ON)⇒OFF にし、格納スイッチからコネクターを引き抜き上記で確認した線をコネクターから約 10 cm の所で切断し接続してください。  
 上記作業後、別売のリレーユニット タイプI (MR-30) に**水色線** を接続します。  
 (\*必ずリレーユニットタイプI (MR-30) の取扱説明書をご確認ください。)



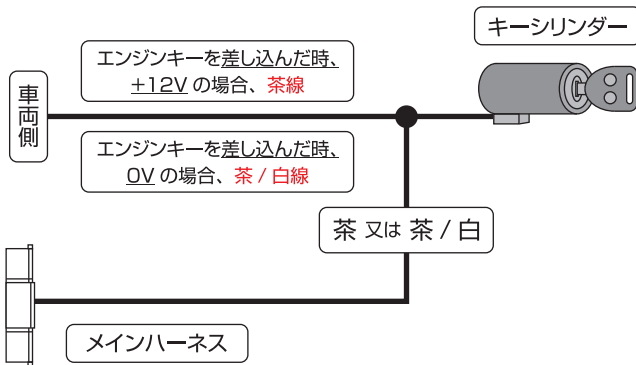
引き続き「共通配線方法①」へお進みください。

**共通配線方法②**

< キー検出信号線の配線 >

ステアリングコラムカバー内のキーシリンダー付近でエンジンキーをキーシリンダーへ抜き差しした時に電圧が変化する線をサーキットテスターで探します。

エンジンキーを差し込んだ時、+12V に電圧変化する場合、**茶線** を接続  
 エンジンキーを差し込んだ時、OV に電圧変化する場合、**茶 / 白線** を接続



※エンジン始動・停止がプッシュボタン式の車両の場合、キー検出信号線がありませんので ACC 線又はイグニッション線 (エンジンキーが OFF の位置で OV、ACC 又は ON の位置で +12V の電圧が出力されている線) に**茶線** を接続してください。

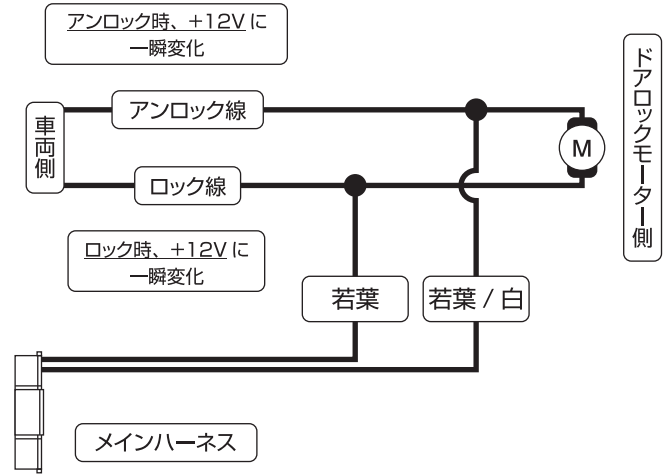
引き続き「共通配線方法③」へお進みください。

**共通配線方法①**

< ロック・アンロック線の配線 >

運転席足元コネクター内又は、運転席ドア内のドアロックモーターからドアをロック・アンロックした時に一瞬電圧変化する線をサーキットテスターでそれぞれ探します。

ロック時、+12V に一瞬電圧変化する線に**若葉線** を接続  
 アンロック時、+12V に一瞬電圧変化する線に**若葉 / 白線** を接続



引き続き「共通配線方法②」へお進みください。

**共通配線方法③**

< ボディーアース線の配線 >

車両のボディーアース (塗装されていない金属部分のボルト) に単独で**黒線** を接続します。



< 常時電源線の配線 >

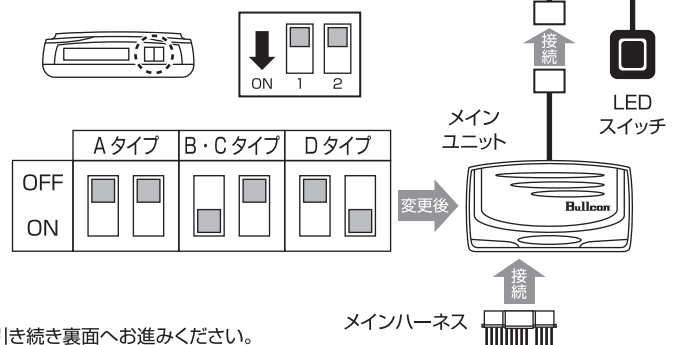
車両のための常時電源線 (エンジンキーがどの位置でも +12V の電圧があり電流値が大きい線) をサーキットテスターで探し、**赤線** を接続します。



**タイプ別ディップスイッチ設定**

メインユニットのディップスイッチ設定をおこないます。  
 ドアミラーの格納スイッチタイプによって設定が異なりますので**該当する格納スイッチタイプの設定に変更してからメインハーネスをメインユニットへ接続**し付属の LED スwitch を接続してください。

メインユニットディップスイッチ (出荷時は全て OFF 設定)



引き続き裏面へお進みください。

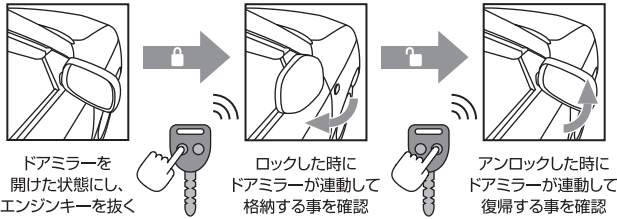
## 格納スイッチ「A タイプ」のみの設定

- 格納スイッチが「A タイプ」の車両の場合、必ず下記設定をおこなってください。
- ①アンロック時にエンジンキーを抜いた状態で LED スイッチを押しながら 3 秒以内にロックをおこないます。
  - ②LED スイッチが 5 回点滅すると設定完了です。

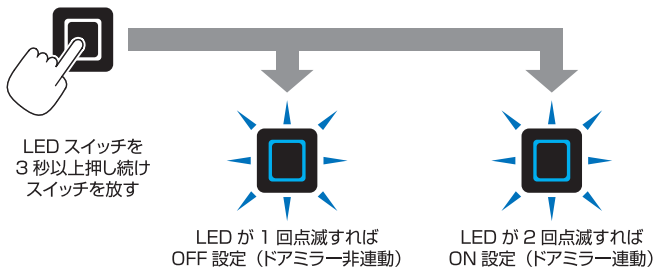


※LED が 8 回点滅した場合、この設定は解除になります。この場合は再度設定をおこなってください。

## 作動確認



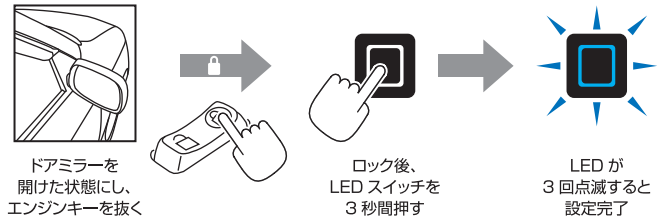
< システム ON・OFF 設定 > ※初期設定（工場出荷時）は ON 設定



## アドバイス

### < ドアミラーの復帰を ACC 運動にする場合 >

格納スイッチが「B・C・D タイプ」の車両でドアミラーの格納はドアロック運動のまま復帰を ACC 運動にしたい場合、下記設定をおこなう事でドアアンロック時には運動せず、格納スイッチが復帰位置であればエンジンキーの ACC (ON) に運動してドアミラーが開きます。



設定を解除する場合は上記同様の操作をおこなってください。（この場合は LED が 8 回点滅します。）

※LED スイッチから 3 秒未満で指を放された場合、設定は反映されません。又、LED スイッチを押している間は 3 秒毎に設定の ON・OFF が繰り返されます。

### < こんな時は・・・ >

格納スイッチが「B・C タイプ」の車両でドアミラーが片側だけ開く又は、途中で止まってしまう場合は、上記 < ドアミラーの復帰を ACC 運動にする場合 > の設定をおこない、格納スイッチを復帰位置にしてご使用ください。

## トラブルシューティング

修理を依頼される前に下記の点検・確認をお願い致します。

症状	原因	解決方法
格納スイッチでドアミラーが作動しない (各タイプ)	配線が間違っている又は、断線している	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認してください
	メインハーネスが抜けている	コネクタが確実にロックする様接続してください
	取り付け時に車両側コネクタを外したままになっている	車両側コネクタの接続を確認してください
LEDスイッチを押してもLEDが点滅しない(各タイプ)	配線が間違っている又は、断線している	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認してください
	LED スイッチ又は、メインハーネスが抜けている	コネクタが確実にロックする様接続してください
LED スイッチの LED が高速点滅し続ける (各タイプ)	ロック・アンロック線の配線が間違っている	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認してください
	エンジン始動時に常時電源の電圧が低下している	常時電源線の配線箇所を変更してください
ドアロック・アンロックしてもドアミラーが運動しない (各タイプ)	配線が間違っている又は、断線している	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認してください
	メインハーネスが抜けている	コネクタが確実にロックする様接続してください
	取り付け時に車両側コネクタを外したままになっている	車両側コネクタの接続を確認してください
	システムが OFF になっている	システムを ON にしてください
	エンジンが始動している又は、エンジンキーがキーシリンダーに差し込まれている	エンジンを止めてエンジンキーを抜いてください
	運転席ドアの開閉直後にドアロック操作をおこなっている	運転席ドアを閉じてから 2～3 秒後にドアロック操作をおこなってください
	別売リレーユニットが取り付けされていない (D タイプのみ)	リレーユニットタイプ (MR-30) をご購入の上、取り付けをおこなってください
別売リレーユニットの配線が間違っている (D タイプのみ)	リレーユニット及び本製品の配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認してください。	

症状	原因	解決方法
ドアロック・アンロックしてもドアミラーが片側しか運動しない (B・C タイプのみ)	ドアミラー開閉信号線が運転席側と助手席側で分かれている (開信号線 2 本・閉信号線 2 本)	ドアミラー開閉信号線をそれぞれ 1 本にまとめて配線してください
アンロック時にドアミラーが片側だけ開く又は、途中で止まってしまう (B・C タイプのみ)	メインユニットのディップスイッチ設定が間違っている	スイッチタイプに合った設定をおこなってください
	車両の特性である	アンロック時に運動する事は出来ませんので < こんな時は・・・ > を参照し、設定をおこなってください
作動時にドアミラーが開閉を繰り返す (各タイプ)	ロック・アンロックの配線が逆になっている	配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認してください
	キー検出信号入力線の配線が間違っている	配線方法を参照し、配線が正しく接続されているか確認してください
	メインユニットのディップスイッチ設定が間違っている (A タイプのみ)	スイッチタイプに合った設定をおこなってください
走行中ロックするとドアミラーが閉じてしまう (各タイプ)	キー検出信号入力線が配線されていない	配線方法を参照し、配線が正しく接続されているか確認してください

その他の症状が発生した場合は、お手数ですが弊社サービスセンターまでお問合せください。